

エコアクション21 環境活動レポート

2018年度版

(対象期間:2018年9月～2019年8月)



発行日:2019年10月7日



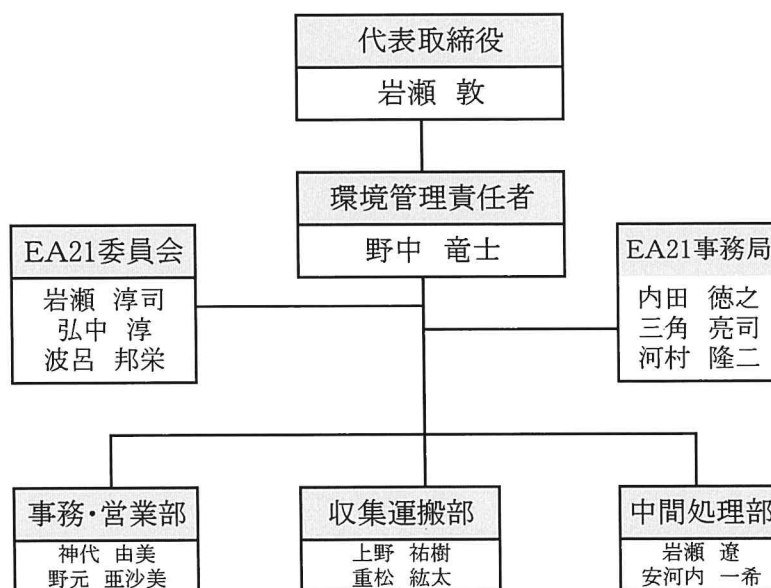
株式会社西日本開発

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲.....	3
3. 環境方針	5
4. 環境目標	6
5. 環境目標の実績.....	7
6. 環境活動計画及びその取組結果と評価、 次年度の取組内容	8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
8. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果.....	9

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 西日本開発
代表者氏名 代表取締役 岩瀬 敦
- 2) 所在地 本社 〒811-1223 福岡県那珂川市大字上梶原1068-29
- 3) 環境管理責任者 野中 竜士
担当者氏名 野中 竜士
連絡先 TEL / 092-953-4127 FAX / 092-953-4128
Eメールアドレス info@west-jpd.com
- 4) 事業の内容 産業廃棄物収集・運搬及び処分業(中間処理)
- 5) 事業の規模
- ・ 法人設立 2006年11月14日
 - ・ 資本金 1,000万円
 - ・ 売上高 12,000万円(2018年度)
 - ・ 従業員数 11人
 - ・ 事業所の延べ床面積 252.44㎡
 - ・ 事業年度 9月～翌年8月
 - ・ 組織図



6) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業				許可項目															
都道府県 及び政令 都市	積替 保管		許可の年月日 及び 有効年月日	許可番号	燃え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず類	がれき類	ばいじん
	有	無																	
福岡県		●	2016年12月18日	第04000132198号	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			2021年12月17日																
佐賀県		●	2019年12月20日	第04101132198号	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			2024年12月21日																

＜事業計画の概要＞

許可を受けた産業廃棄物(9種類)について事業者から運搬の委託を受けた場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく契約を締結し、排出業者からマニフェストの交付を受け、指定された許可処分業者の事業場に運搬する。

産業廃棄物処分類				許可項目								
都道府県 及び政令 都市	事業区分	許可の年月日 及び 有効年月日	許可番号	廃 プ ラ ス チ ック 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず 類	が れ き 類
福岡県	中間処理(選別)	2016年10月20日～ 2021年10月19日	第04020132198号	●	●	●	●		●	●	●	●
	処理能力(t/8時間)			17t	17t	17t		17t	17t	17t	17t	
	中間処理(圧縮)			●	●		●			●		
	処理能力(t/8時間)			3.05t	1.96t		4.49t			1.54t		

7) 施設等の状況(運搬車両の種類と台数)

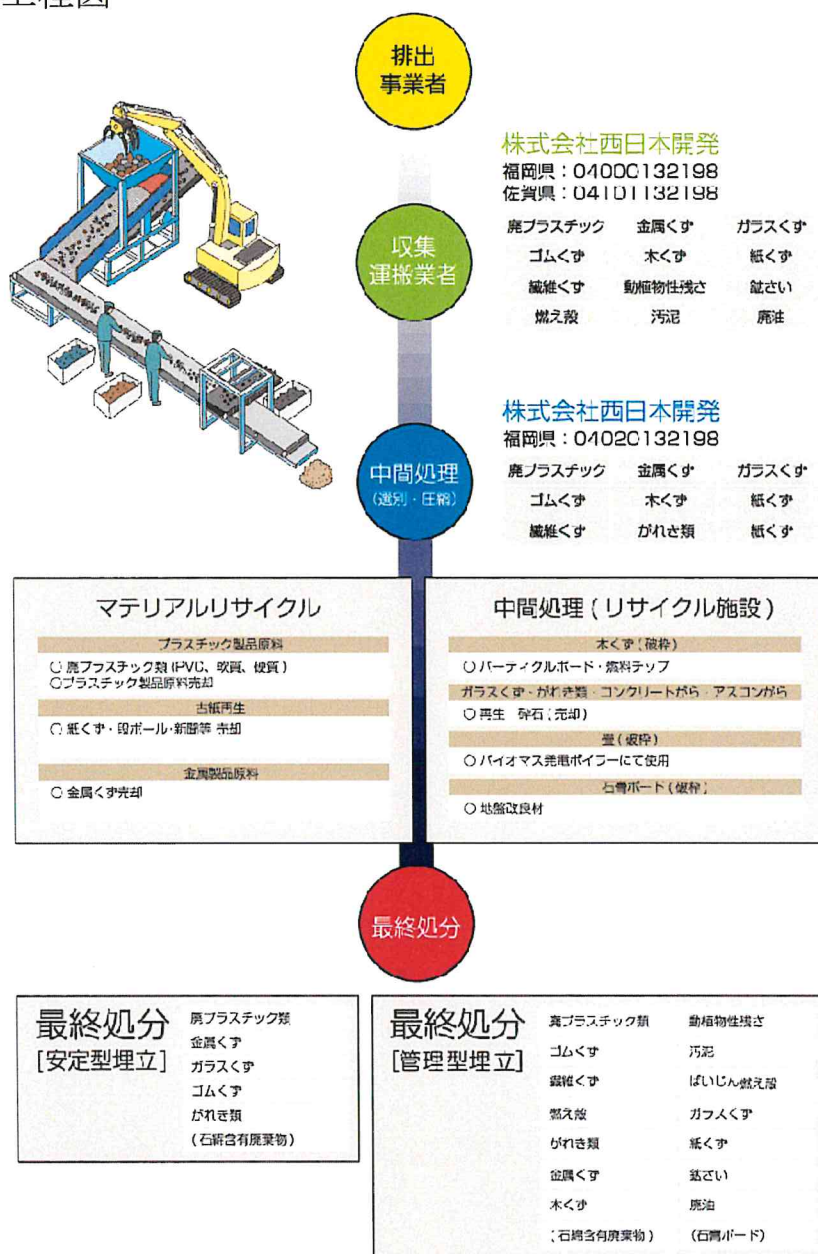
＜収集運搬車両＞

4tクラム付きトラック(三菱)	:1台	2tユニック車(いすゞ)	:1台
4t脱着式ダンプ(日野)	:1台		
4t脱着式ダンプ(日産)	:1台		
2t脱着式ダンプ(三菱)	:2台		
2t塵芥車(三菱)	:1台		
軽トラック(スズキ)	:1台		

＜中間処理施設＞

4t脱着装置付コンテナボックス	:26台
2t脱着装置付コンテナボックス	:29台
油圧ショベル	:2台
フォークリフト	:2台
振動ふるい機	:1台
手選別コンベア	:1台
磁力選別機	:1台
縦型圧縮梱包機	:1台

8) 処理工程図



9) 処理実績

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i) 収集運搬	混合廃棄物	2,235.20
	廃プラスチック類	1,303.04
	金属くず	1,808.86
	コンクリートがら	398.80
	木くず	1,161.45
	廃石膏ボード	378.55
収集運搬量合計		7,285.90

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i) 中間処理 (選別・圧縮)	ガラスくず	931.17
	金属くず	1,902.28
	コンクリートがら	409.36
	紙くず	769.47
	廃プラスチック	1,393.18
	がれき類	957.55
	木くず	1,113.43
中間処理量合計	廃石膏ボード	381.03
	中間処理量合計	7,857.47

2. 認証・登録の対象範囲

1) 対象事業所 本社

2) 対象活動 産業廃棄物の収集・運搬及び処分業



3. 環 境 方 針

基本理念

当社は、未来ある子供たちの為に、安全・資源・環境・再生利用・地球に優しい企業を目指しlove the earthを合言葉に、日々の業務を地球環境に配慮し以下の項目を推進します。

1.環境行動指針

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 受託産業廃棄物のリサイクル推進
- ③ 廃棄物排出量の削減及び3Rの推進

Reduce	リデュース:減量
Reuse	リユース:再利用
Recycle	リサイクル:再資源化

- ④ 水使用量の削減
- ⑤ グリーン購入の推進
- ⑥ 地域貢献活動の推進

2.関係する環境関連法規を遵守します。

制定日2014年10月1日

株式会社西日本開発

代表者 岩瀬 敦

4. 環 境 目 標

・当社の事業活動による地域及び地球環境への影響の最小化と、地域社会の環境を良くする取組を含めて、2019年度は以下の6項目14目標を環境目標として設定しました。

項 目	単位	基準年	目標値			
		2017年度実績	2018年度	2019年度	2020年度	
		(2017年9月～2018年8月)	(2018年9月～2019年8月)	(2019年9月～2020年8月)	(2020年9月～2021年8月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	101,766	100,758 (1%削減)	99,770 (2%削減)	98,801 (3%削減)	
① 電気使用量の削減	kWh(電灯)	9,277	9,185 (1%削減)	9,095 (2%削減)	9,006 (3%削減)	
	kWh(電力)	1,663	1,646 (1%削減)	1,630 (2%削減)	1,614 (3%削減)	
② ガソリン使用量の削減	ℓ	2,490	2,465 (1%削減)	2,441 (2%削減)	2,417 (3%削減)	
③ 軽油使用量の削減	ℓ	34,446	34,104 (1%削減)	33,770 (2%削減)	33,442 (3%削減)	
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物のリサイクル量増加	kg	213	215 (1%増加)	217 (2%増加)	219 (3%増加)	
②一般廃棄物排出量の削減	kg	29	28.7 (1%削減)	28.4 (2%削減)	28.1 (3%削減)	
③受託した産業廃棄物の リサイクル率の維持	%	95	95	95	95	
3. 水使用量の削減	m ³	67	66.3 (1%削減)	65.6 (2%削減)	65 (3%削減)	
4. グリーン購入の推進	品数	12	13	14	15	
5. 車両の燃費向上						
①収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.24	5.29 (1%増加)	5.34 (2%増加)	5.39 (3%増加)	
②構内作業車両の燃費向上	h/ℓ	2.63	2.65 (1%増加)	2.68 (2%増加)	2.7 (3%増加)	
6. 地域貢献活動の推進						
①地域行事への参加	回 (行事)	1	1	1	1	
②地域清掃の励行	回 (清掃)	12	12	12	12	

備考)

1. 基準年の2018年度実績に基づき()の増減率を乗じて数値目標を策定した。
2. 二酸化炭素排出量の計算で使用した購入電力の排出係数は、0.509kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2015年度実排出係数)を使用した。
3. 化学物質は事業活動で使用していないので、環境目標から除外した。

5. 環境目標の実績

- ・2019年度における環境への取組による環境目標達成状況は、以下のとおりです。
- ・設定した6項目14目標のうち、3項目5目標で環境目標を達成できました。
- ・当社の最大の環境負荷となっている二酸化炭素排出量は、目標達成率が94%でわずかに目標達成とはいきませんでした。これは基準年とした2018年度から比べて、増員、増車があったためで、前年度と違い現状にあった目標値になっている。
- ・今後は社員一丸となって意識を高めて取り組んでいけば目標に到達できそう。

項 目	単位	基準年	2019年度(2018年9月～2019年8月)			
		2018年度実績	目標値	実績値	目標達成率	目標達成の判定
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	101,766	100,758 (1%削減)	107,231	94%	△
① 電気使用量の削減	kWh(電灯)	9,277	9,185 (1%削減)	10,753	85%	△
	kWh(電力)	1,663	1,646 (1%削減)	1,309	125%	◎
② ガソリン使用量の削減	ℓ	2,490	2,465 (1%削減)	1,763	139%	◎
③ 軽油使用量の削減	ℓ	34,446	34,104 (1%削減)	36,961	92%	△
2. 廃棄物排出量の削減						
① 一般廃棄物のリサイクル量増加	kg	213	215 (1%増加)	198.4	108%	○
② 一般廃棄物排出量の削減	kg	29	28.7 (1%増加)	43.2	66%	×
③ 受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持	%	95	95	94	98%	△
3. 水使用量の削減	m ³	67	66.3 (1%削減)	100.9	65%	×
4. グリーン購入の推進	品数	12	13	12	92%	△
5. 車両の燃費向上						
① 収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.24	5.29 (1%増加)	5.17	97%	△
② 構内作業車の燃費向上	h/ℓ	2.63	2.65 (1%増加)	2.55	96%	△
6. 地域貢献活動の推進						
① 地域行事への参加	回 (行事)	1	1	1	100%	○
② 地域清掃の励行	回 (清掃)	12	12	12	100%	○

備考)

- 目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100 増加目標の場合: 実績÷目標×100
- 目標達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

6. 環境活動計画及びその取組結果とその評価、次年度の取組内容

・当社は、エコアクション21に取り組んで今回で5期目となりますが、年々社員の環境意識の向上がみられ、決めた環境活動は良好な実施結果となりました。

・しかし、環境目標は未達成となったものもみられたことから、環境目標と対応する環境活動の整合性を再確認して、今後も環境への取組を社員全員で実施していきます。

環境活動計画			実施状況	評価及び次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減				
①	電気使用量の削減	エアコン設定温度を決め、実行する	◎	実行しているが目標にとどいていない。さらに努力したい。
		昼休み中稼働時間以外の照明を消す	◎	
		OA機器の省電力設定	○	
②	ガソリン使用量の削減	ふんわりアクセルの徹底	○	全てとはいかないが実行された。まだまだ改善の余地がありそうだ。
		タイヤの空気圧のチェック	○	
③	軽油使用量の削減	ふんわりアクセルの徹底	○	全てとはいかないが実行された。まだまだ改善の余地がありそうだ。
		タイヤの空気圧のチェック	○	
2. 廃棄物排出量の削減				
①	一般廃棄物排出量のリサイクル量の増加	排出量の把握	◎	計画どおり実行されたが次年度も継続して実施する
		分別の徹底	○	
②	一般廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏紙使用	◎	全て計画どおり実行された。次年度も継続して実施する
		ペーパーレスの徹底	◎	
③	受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持	排出事業者に分別指導	○	細かく周知徹底してドライバーを含めて現場で実施する
		選別の細分化・リサイクル率の維持	○	
3. 水使用量の削減				
①	水使用量の削減	洗い物の時はこまめに水を止めて洗う	△	来期は節水に力を入れたい。
		車両の洗車の回数を減らす(極力バケツ使用)	○	
4. グリーン購入の推進				
①	グリーン購入の推進	エコマーク商品を購入	○	全て計画どおり実行された。次年度も継続して実施する
		ISO若しくはEA21取得業者から購入	○	
5. 車両の燃費向上				
①	収集運搬車両の燃費向上	回収ルートの効率化	○	担当者と委員会で話し合い次年度は点検に力を入れる。
		日常点検・定期点検の実施	△	
②	構内作業車両の燃費向上	日常点検・定期点検の実施	○	担当者と委員会で話し合い次年度は点検に力を入れる。
		作業時に必要以上に回転数を上げない	△	
6. 地域貢献活動の推進				
①	地域行事への参加	町内行事に積極的に参加する	○	全て計画どおり実行された。次年度も継続して実施する
②	地域清掃の励行	定期的に会社周辺の清掃活動	○	

備考) 実施状況の判定区分 ◎:よく実施できた ○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった -:判定不可

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2019年度事業活動終了後に法令遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	産業廃棄物の収集運搬事業、中間処理事業	○
自動車リサイクル法	収集運搬車両・営業車	—
家電リサイクル法	事務所内家電製品(テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機)	—
オフロード法	重機・フォークリフト	○
フロン排出抑制法	事務所内エアコン	○

備考) 遵守評価区分 ○:遵守、×:不遵守、—:該当なし

8. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果

1) 取組状況の全体評価

- ・全体的に社員の環境への意識・行動は向上している。
- ・目標達成には至らなかったが、新入社員も増えたので意識改革を徹底して行動できた。
- ・収集運搬及び構内作業車の燃費向上にも取り組んだが、一人一人の意識を高めさらに向上できるよう取り組みたい。
- ・二酸化炭素排出量の削減はもう少しで達成とゆうところだったのでしっかり原因の追究をして次年度に生かしてもらいたい。

2) 計画の見直し結果

- ・環境方針やその他環境経営システムの変更は必要なかったが、新たな3カ年計画のもと一年取り組んでみて、来期は社員一丸となって共通意識を持って取り組んでいきたい。

